Canon キヤノン ITソリューションズ株式会社

ニュースリリース

2009年9月30日
キヤノンITソリューションズ株式会社

クライアントPCの認証・暗号化セキュリティツール「CompuSec」シリーズ用管理ツール「GlobalAdmin Lite」の新バージョンを10月1日（木）より販売開始 ～「乗り換えるには理由（ワケ）がある」キャンペーン実施中～

キヤノンマーケティングジャパングループのキヤノンITソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：武井尭）は、パソコンの盗難や紛失時の情報漏えいを防ぐ、認証・暗号化セキュリティツール「CompuSec（コンピュセック）」シリーズの管理ツール「GlobalAdmin Lite」の新バージョン（Version 4.7.3）を10月1日（木）より販売開始します。

CompuSecは、モバイルPCやデスクトップPCを対象にしたPKI（公開鍵基盤）ベースの個人認証・暗号化セキュリティツールです。OS起動前に行うプリブート認証（Preboot PKI）とハードディスクの丸ごと暗号化（OS含む）だけでなく、USBメモリなどの外部記憶装置や電子メールの暗号化(※)といったPKIベースの様々なセキュリティ機能を標準搭載しています。CompuSecの管理ツール「GlobalAdmin Lite」を導入することによって、システム管理者はユーザーごとのポリシー設定や暗号鍵情報の管理、パスワード紛失時のリセット作業を一元的に行えます。
※CompuSecで電子メールの暗号化を行うにはGlobalAdmin Liteを導入する必要があります。

今回の新バージョンでは、管理できるユーザー数の制限（従来は200ユーザーまで）をなくし、大規模環境での導入が容易になりました。また、CompuSec管理情報のインポートが行えるスクリプター機能を追加して、新規導入時や組織変更時などの大量の情報変更時における管理PCの登録にかかる手間を軽減し、業務を効率化することができるようになりました。

■「CompuSec」シリーズの主な特長

- OS起動前認証
- Windows起動への便利なシングルサインオン機能
- ハードディスク全体を強力に高速暗号化 / 暗号化を感じさせない快適なパフォーマンス
- USBメモリなどの外部記憶装置も丸ごと暗号化
- 安全にデータ交換が可能なファイル単位の暗号化
- 暗号化された仮想ドライブの作成

■「GlobalAdmin Lite」の主な特長

- 管理ユーザー数の制限を解除【NEW】
- CompuSecセキュリティポリシーの一元管理
- 暗号鍵情報の管理
- 電子証明書の発行などを行う認証局（プライベート局）の構築
- リムーバブルメディアや共有フォルダの暗号化共有
- 誤ったパスワードを入力した際のロックアウト設定
- ネットワーク / ローカルフォルダの自動暗号化（SafeLan）
- スクリプター機能によるCompuSec管理情報のインポート【NEW】
- クライアントPCとユーザーの使用権限設定

■「CompuSec」シリーズ 価格表
【ライセンス製品価格】

ライセンス数	希望小売価格（税別）	
	CompuSec SWライセンス	CompuSec Proライセンス （USBトークンまたはSmartCard+リーダー付属）
5～19	12,500円	19,500円
20～49	12,000円	18,500円
50～99	11,600円	17,900円
100～199	11,300円	17,500円
200～499	10,900円	16,900円
500～999	10,500円	16,400円

1,000～1,999	9,800円	15,900円
2,000～	9,000円	15,000円

※ 上記価格は1ライセンスあたりの価格です。
※ CompuSec Pro ライセンスには、標準でUSBトークンまたはSmartCard+リーダーが付属します。
※ 上記ライセンス製品以外に、パッケージ製品、ダウンロード製品があります。

【管理ツール製品価格】

製品名	希望小売価格（税別）
CompuSec GlobalAdmin Lite	200,000円

※ 別途クライアントPCに導入するCompuSec SW ライセンスまたはCompuSec Proライセンスが必要です。

■「乗り換えるには理由（ワケ）がある」キャンペーン情報
他社ハードディスク暗号化製品をお使いのお客さまを対象に、特別価格でCompuSecをご購入いただける乗り換えキャンペーンを実施します。また、残り保守契約期間の延長保証サービスも実施します。

- キャンペーン期間
  2010年3月23日（火）まで［当日弊社受付分まで有効］
  ※キャンペーン製品の出荷は2009年10月1日（木）から開始します。
- キャンペーン対象製品
  CompuSec SW ライセンス版
- キャンペーン価格
  2,000円 ※1ライセンスあたりの希望小売価格（税別）です。
- 残り保守契約期間の延長保証サービス
  ご利用中の他社ハードディスク暗号化製品の残り保守契約期間を当社が保証し、キャンペーン対象製品の保守契約期間を延長します。

※詳細は「CompuSec乗り換えキャンペーン」サイトをご参照ください。
【 http://canon-its.jp/product/cs/cng_camp.html 】

■ 対応OS

【CompuSec SW】
日本語 Microsoft
Windows 2000（Service Pack 1以降）
Windows XP Home Edition
Windows XP Professional
Windows Vista Home Basic
Windows Vista Home Premium
Windows Vista Business
Windows Vista Enterprise
Windows Vista Ultimate

【CompuSec Pro】
日本語 Microsoft
Windows 2000（Service Pack 1以降）
Windows XP Home Edition
Windows XP Professional

【GlobalAdmin Lite】
日本語 Microsoft
Windows 2000（Service Pack 1以降）
Windows XP Home Edition（Service Pack 3）
Windows XP Professional（Service Pack 3）
Windows Server 2003 R2 Standard Edition
Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition

※64bit版Windowsには対応しておりません。

※ CompuSecは、CE-Infosys社の商標です。
※ Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国および、その他の国における商標または登録商標です。
※ その他の製品名および社名などは各社の商標または登録商標です。仕様は予告なく変更する場合があります。

■「CompuSec」シリーズ主要機能詳細

1. OS起動前認証
   BIOSとOSの間で、CompuSec SWはユーザーIDとパスワードによる認証を行います。またCompuSec ProはPKI技術を利用した認証デバイス（USBトークン、SmartCard）とパスワードで認証を行います。ハードディスク自体が暗号化されていますので、認証を通過しない限りOSの起動さえ行えません。

2. Windows起動への便利なシングルサインオン機能
   OSログオン時のパスワードやドメイン名をハードディスク内に暗号化して格納します。これにより、OS起動前に求められるCompuSecの認証だけでドメイン接続まで自動的に行えます。
   ※ CompuSec Proは、認証デバイス（USBトークン、SmartCard）内にユーザーID、OSのログオンパスワード、ドメイン名が格納されます。

3. ハードディスク全体を強力に高速暗号化 / 暗号化を感じさせない快適なパフォーマンス
   AES 256bitのアルゴリズムを用いてOSごとハードディスクを暗号化します。PC使用中は、OSとBIOSの間に常駐する透過暗号化ドライバが高速に暗号化・復号を行いますので、ユーザーは暗号化を全く意識せずに作業が行えます。さらにモバイルユーザー向けにハイバネーションモード（休止状態）時の暗号化にも対応しています。

4. USBメモリなどの外部記憶装置も丸ごと暗号化
   USBメモリ、USB接続のハードディスク、FD、各種メモリカードなどのリムーバブルメディアを丸ごと暗号化できます。暗号化フォーマットにすることで、ファイルやフォルダをリムーバブルメディアにドラッグアンドドロップするだけで暗号化されます。

5. 安全にデータ交換が可能なファイル単位の暗号化
   CompuSecを導入しているPC間では、ファイル単位の暗号化機能「DataCrypt」が利用できます。DataCryptを利用することで、電子メールなどによるデータ交換も安全に行うことが可能です。
   ※ DataCryptで暗号化できる最大ファイルサイズはCompuSec SWが680MB、CompuSec Proが16MBです。搭載メモリにより、暗号化可能なファイルサイズは変化します。

6. 暗号化された仮想ドライブの作成
   CompuSec SWは、AES 256bitの暗号化アルゴリズムを利用して、暗号化された仮想ドライブを作成できる「DriveCrypt」を搭載しています。作成された仮想ドライブは、マウント・アンマウントが自由に行えるので、ファイルサーバーなどに自分だけが閲覧できる機密データをバックアップするなどの利用が可能です。
   ※ CompuSec Proではご利用いただけません。

■「GlobalAdmin Lite」主要機能詳細

1. CompuSecセキュリティポリシーの一元管理
   パスワードの変更可否、有効期限、有効ログイン回数、最小/最大長さなどのパスワードに関するポリシーやトークンの権限（インストールの可否）、暗号化アルゴリズム、アンインストール権限、デバイスへのアクセス権などCompuSecに関するユーザーの各種権限をGlobalAdmin Liteで一元管理できます。

2. リムーバブルメディアや共有フォルダの暗号化共有
   GlobalAdmin Liteで生成した各種暗号鍵を、各ユーザーに割り当てることで暗号鍵の共有ができます。これにより、リムーバブルメディアや共有フォルダをグループ内で暗号化して共有し、安全な読み書きが可能になります。

3. 誤ったパスワードを入力した際のロックアウト設定
   GlobalAdmin Liteに設定した回数の認証に失敗すると、そのユーザーIDをロックします。そのため、認証の繰り返しによるアタックを防止できます。ロックを解除するには、GlobalAdmin Liteの管理者によるパスワードリセットの手順が必要です。

4. スクリプター機能によるCompuSec管理情報のインポート【NEW】
   CSV形式ファイル上の情報を基に、CompuSecのユーザー情報やPC情報などを一括インポートし、GlobalAdmin Liteに登録できます。これにより、新規導入時や組織変更時などの大量の情報変更時における管理PCの登録にかかる手間を軽減し、業務の効率化が図れます。

5. クライアントPCとユーザーの使用権限設定
   管理者などの特定ユーザーに対して、複数台のクライアントPCへのログインを可能にしたり、共有端末などに対して、複数ユーザーが1台のクライアントPCにログインを可能にする設定ができます。

© Canon IT Solutions Inc.